

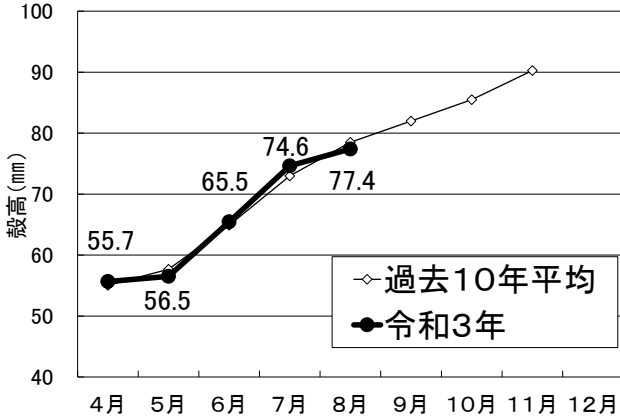
◎成長モニタリング調査結果

8月18日に養殖ホタテガイの成長モニタリング調査を行いました。

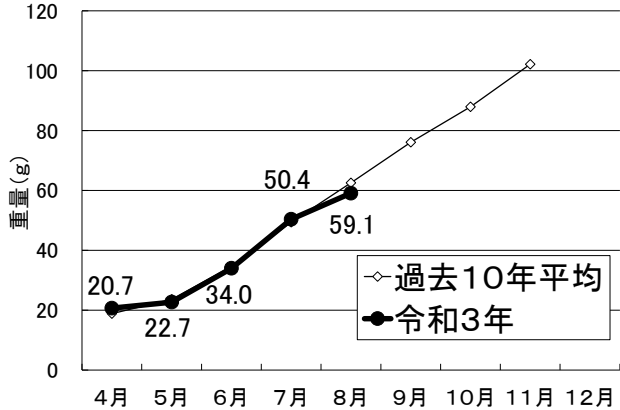
3年貝の成長は平年より低く、殻高は108.0mm(平年値110.4mm)、全重量は170.5g(平年値184.0g)でした。貝柱重量は24.9gで平年値27.4gを下回っていました。歩留りは14.6%で例年よりやや高く、エネルギーストック量の指標となるグリコーゲン量は5.4%で先月よりも増加していました。

2年貝の成長については、殻高は77.4mm(平年値78.5mm)、全重量は59.1g(平年値62.5g)で、平年より低く推移しています。

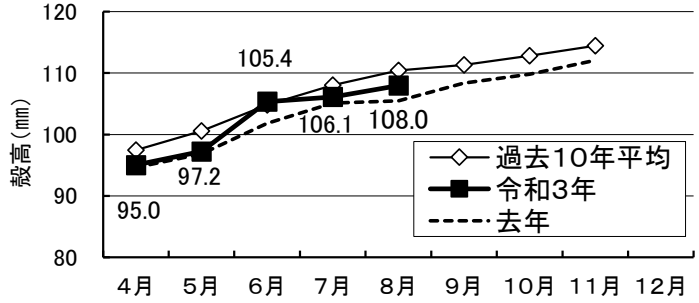
2年貝の成長状況(殻高)



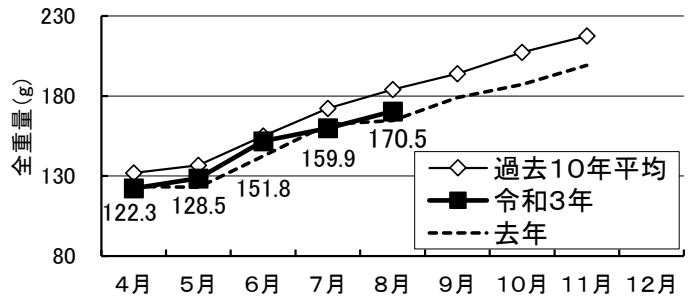
2年貝の成長状況(重量)



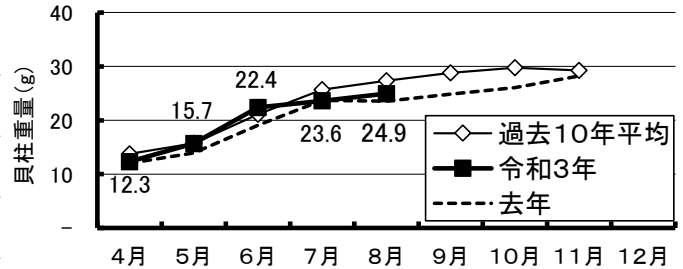
3年貝の殻高変化



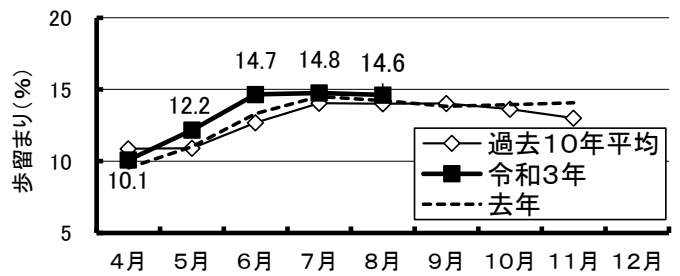
3年貝の全重量変化



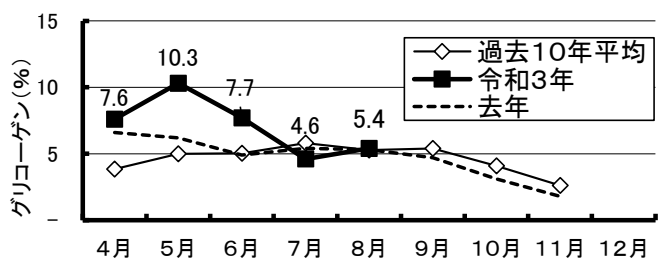
3年貝の貝柱重量変化



3年貝の歩留まり変化



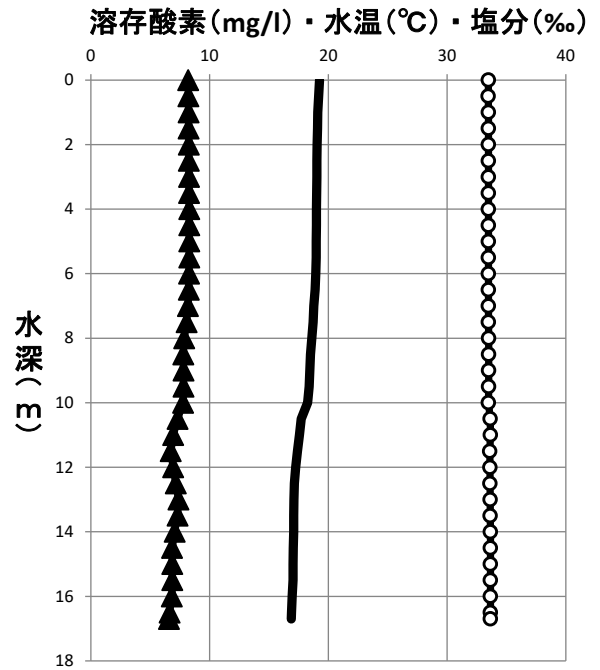
3年貝のグリコーゲン量変化



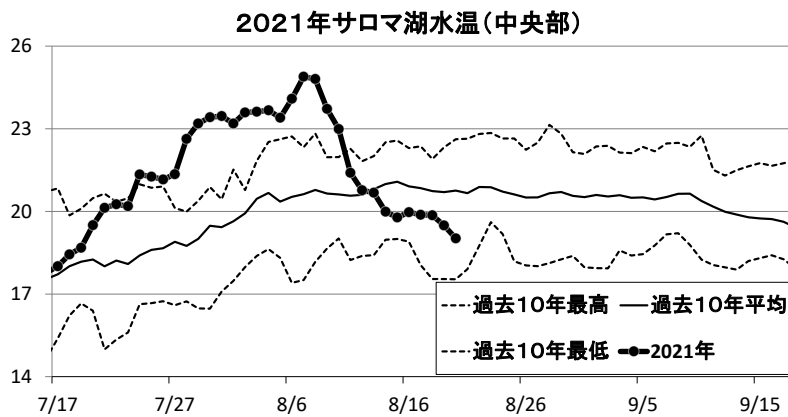
### ◎サロマ湖水質状況

8月20日に湖内中央部ブイ5の水質を測定しました。

その結果、水温は全層で20℃以下でした。塩分は全層で33以上ありました。溶存酸素は全層で5 mg/Lを上回っており、貧酸素は解消されました。



### ◎サロマ湖水温状況（ブイ5、水深4m）



### ◎サロマ湖付着生物ラーバ出現状況

サロマ湖4地点で付着生物のラーバ調査を行いました。

その結果、イガイ（シュウリガイ）ラーバは4地点平均で519.2個/トン出現し、そのうち付着サイズのラーバは39.0個/トンでした。

ホヤ類（エボヤ、ユウレイボヤ、ザラボヤ）のラーバは30.8個/トン出現していました。

